

平成30年度



学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

平成31年1月7日
横浜市立高田小学校

1月号

「木々を見つめて」

校長 金子 一雄

新年明けましておめでとうございます。昨年は高田小学校の子どもたちのために、たくさんのご支援・ご協力をいただきましてありがとうございました。心より感謝申し上げます。本年も子どもたちが健やかに成長できますよう、教職員一同心をひとつにして頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。

さて、今日から後期の後半となります。3月までの短い間に、「書き初め」、「幼保小交流会」、「避難訓練」、「創立記念日」、「6年生を感謝する会」、「2, 3, 6年生の学習発表会」、「学習状況調査」、「たてわり給食」、「第70回卒業証書授与式」など大切な行事が計画されています。また、各学年のまとめの学習も増えてきます。一日一日を大切に各学年最後の3か月間を充実した日々を過ごせるよう願っています。

学校の4年生の廊下に「木々を見つめて」という題材で、絵が展示してあります。描かれた絵は、そもそも木がちがうものもありますが、同じ木であっても一枚一枚色遣い・描き方・感じ方など個性がみられ、一つとして同じものはありません。絵をじっと見つめていると、その絵を描いているときの子どもたちの表情や様子、気持ちなどが浮かんできます。

最近、この「見つめる」「じっと見つめる」という行為がとても少なくなっているように感じます。私自身を例にとれば、毎日同じ道を通り、同じ交通機関を使い、学校と自宅を往復しているわけですが、いつも足早に歩いている自分に気づきます。駅でエスカレーターを使用しているときでも、自然に右側を歩いて左側の人を追い越しています。どこかに立ち止まってあたりを眺めたりじっと物音に耳を傾けたり、そういう機会が少なくなっています。立ち止まることはあっても何となく眺めているという感じです。

この「見つめる」「じっと見つめる」とき、体は静止していますが、反対に感性は鋭くなっているように感じます。注意して眺めたりじっと見つめたりすることで、今まで気づかなかったことや見過ごしてきたこと、新しく感じることなどがたくさん出てきます。

例えば、夜星を眺めていると、瞬く星と瞬かない星があることに気がつきます。多くの星は、瞬いてみえるのですが、金星や火星などの惑星は瞬きません。信号機は右端が赤であること。(当たり前のように、自身をもって答えられる人ばかりではありません。) 先日は、花壇に咲いている「ホトケノザ」という植物は、よく見ていたら茎が四角形をしていることに気づきました。このようにちょっとした発見でもうれしく感じるものです。

4年生もきっと「木々をみつめる」ことで、自分なりの発見があり、それをもとに絵を描いてくれたのだと思います。ですから一つ一つの絵がとても個性的で新鮮に見えます。

日々の成長が著しい子どもたちは、このじっくり見つめる・じっくり考えるということが苦手なようです。まるで時間をゆっくり使うことがもったいないと思っているようです。自分自身をじっくり見つめてみる、自分自身をじっくり振り返ってみることで、よさや課題が明らかになってきます。日常の中で、そういう機会を意図的に設けることは大切なことだと思います。